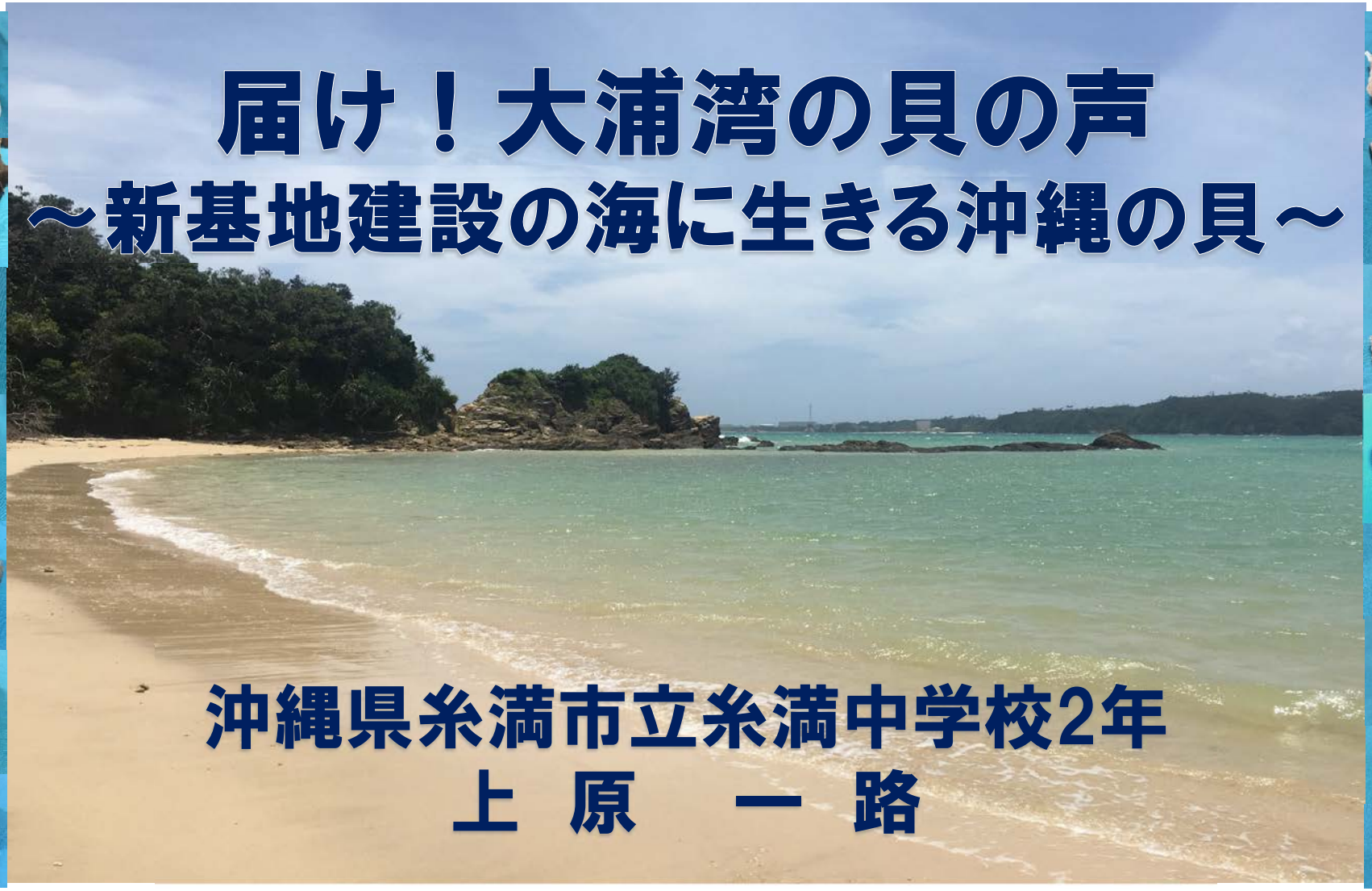
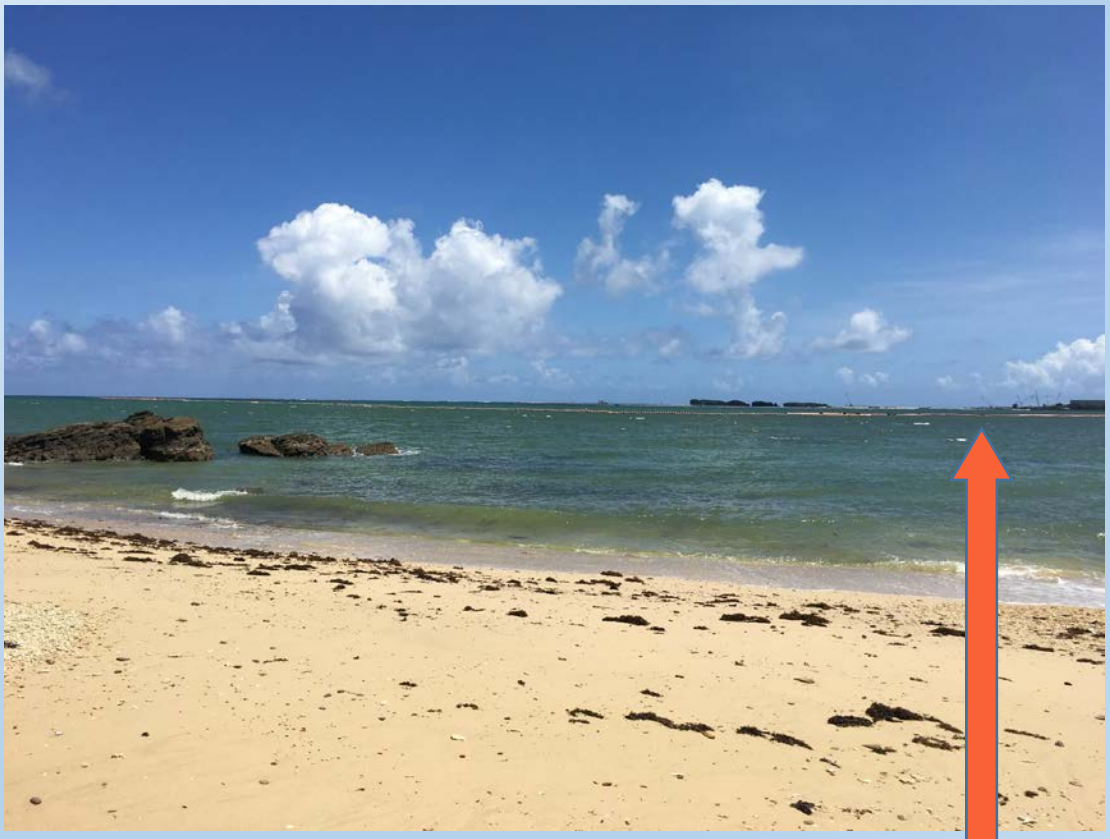


届け！大浦湾の貝の声
～新基地建設の海に生きる沖縄の貝～

沖縄県糸満市立糸満中学校2年
上　原　　一　路

アダンのトンネルを抜けると・・・大浦湾瀬嵩浜



米軍新基地建設のため、オレンジのフロートとその下に汚濁防止膜が設置されています。

きっかけは、2015年7月
小学4年生の時
　初めて大浦湾瀬嵩浜に行った。

面白くてきれいな貝殻いっぱい見つけた！

大浦湾には5300種以上の生物が生息している。
最も多いのは貝類で1974種。
湾奥の瀬嵩浜には700種以上の貝が打ち上がる。

画像引用元：沖縄ドローンプロジェクト

米軍基地建設計画により、現在も、辺野古崎周辺の浅瀬と
大浦湾南岸沿岸の合計160ヘクタールの埋立工事が進められている。

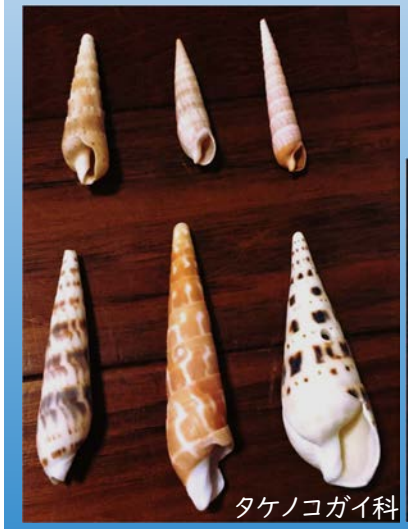
私達も瀬嵩浜で
打ち上げ貝の調査をしてみた！
2015年7月～
2018年10月に計15回、
瀬嵩浜に打ち上がる貝殻を
採集したよ。

貝殻を拾い続けること3年。**同定できたのは　462種**

マクラガイ科

イモガイ科

マルスダレガイ科


タケノコガイ科

ソデボラ科

タマガイ科

フデガイ科

海産腹足類54科347種　陸産腹足類3科4種　ツノガイ類1種　二枚貝類27科110種

絶滅のおそれのあるのは　50種

（採取した462種のうち10.8％）

私は「オガタザクラ」。
絶滅危惧Ⅰ類に指定されていて、
沖縄では大浦湾にしか生息して
いないと考えられているの。
最近生貝が見つかっていないけれど、
2018年10月に
合弁の貝殻が見つかったから、
まだ生息している可能性があるわ。

レッドデータおきなわによると、
絶滅危惧Ⅰ類が4種、Ⅱ類が20種、準絶滅危惧が18種、
情報不足が1種だった。

環境省レッドリストでは、
絶滅危惧Ⅰ類が6種、Ⅱ類が13種、準絶滅危惧が21種だった。

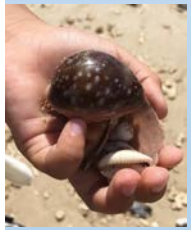
タイワンキサゴ
RDおきなわ絶滅危惧Ⅰ類

ナガタママキ
絶滅危惧Ⅰ類

ナミノコ
RDおきなわ絶滅危惧Ⅰ類

海上フロートの下に汚濁防止膜が設置されてから
打ち上がる貝殻が減った

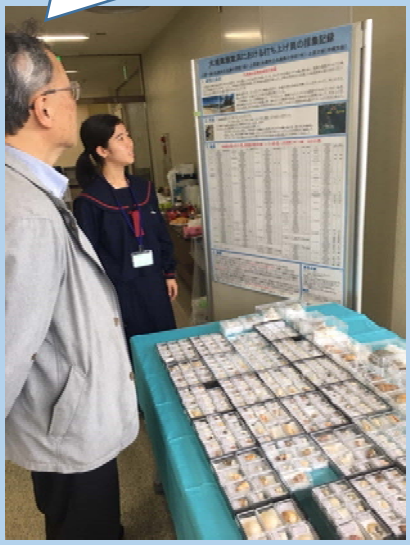
工事が湾内の潮流や環境に影響を与えている



3年間の研究結果「大浦湾の貝の声」を伝える活動

大浦湾の貝のすばらしさ、
生物多様性、貴重な自然
環境を伝えるぞ！

きれいだねぇ。
面白い形の貝だねぇ。
こんなにたくさんいるんだね。



日本科学者会議第22回総合学術研究集会

全国高校生平和集会

あなたに貝の声が聴こえますか？

チョウセンフデ

オオミノムシ

リュウキュウタケ

ミカドミナシ　ハートガイ

守りたい　大浦湾の貝　沖縄の宝

タルダカラ

リュウキュウサラガイ

メオニノツノガイ

シマアラレボラ　トミガイ